

## テレビドラマにおける喫煙描写場面の実態

カンダ	ヒデユキ	オカムラ	トモノリ	カドワキ	タカシ
神田	秀幸*	岡村	智教*	門脇	崇*
ハヤカワ	タケヒト	キタ	ヨシクニ	ウエシマ	ヒロツグ
早川	岳人*	喜多	義邦*	上島	弘嗣*

**目的** 映画やテレビドラマにおける喫煙シーンは未成年者の喫煙開始行動に影響を与えていると言われている。そこで、わが国のテレビドラマの喫煙描写の放映回数、配役の設定、喫煙時の状況などの喫煙場面の実態を明らかにし、未成年者の喫煙行動に影響を与える一環境要因の資料とすることを目的とした。

**方法** 2001年7～9月期に放映された在京民間テレビ放送主要5局が地上波で放映する連続テレビドラマ7番組とした。対象とした番組の平均視聴率は10.1～20.3%であった。各放送を3分間1ユニットに区分し、放送時間内に登場する喫煙場面（喫煙行為そのもの）と喫煙関連場面（灰皿などの描写）のユニット数を計測した。喫煙場面では、喫煙者の配役、喫煙環境、喫煙に伴う行為の有無や喫煙場面の状況について放映ユニット数の計測を行った。

**結果** 1. 収録した番組全1,264ユニットの内129ユニット（全放送場面の10.2%）に喫煙場面がみられ、喫煙関連場面は258ユニット（同20.4%）にみられた。

2. 喫煙場面では、男優（126ユニット、喫煙場面の97.7%）、設定年齢20～40代（118ユニット、同91.5%）、主演（72ユニット、同55.8%）、1人での喫煙場面（80ユニット、同62.0%）、住宅内での喫煙（56ユニット、同43.4%）が登場した。

3. 喫煙以外の行為を伴う喫煙場面は70ユニット（喫煙場面の54.3%）、喫煙以外の行為を伴わない喫煙場面59ユニット（同45.7%）であった。

4. 喫煙以外の行為を伴う喫煙場面では、仕事の場面（28ユニット、喫煙場面の21.7%）、食事の場面（17ユニット、同13.2%）の順であった。喫煙以外の行為を伴わない喫煙場面では、開始時表題場面または終了時配役紹介場面でみられる喫煙場面（32ユニット、同24.8%）、喫煙行為のみの描写（27ユニット、同20.9%）の順でみられた。喫煙を否定する喫煙関連場面は3ユニット（同0.2%）であった。

**結論** わが国のテレビドラマでは3分間を1ユニットとして区分した場合、全ユニット中の約30%に喫煙場面または喫煙関連場面がみられた。喫煙場面は、分煙の配慮がなく、喫煙の必然性のない場面での喫煙が多く、喫煙を否定する描写が少ないことが示された。

**Key words** : テレビドラマ, 喫煙場面, 喫煙関連場面, 喫煙背景

### I はじめに

喫煙の健康への悪影響が広く認識され、喫煙対策は公衆衛生上の主要な課題である。喫煙開始年齢の早期化によってがんや虚血性心疾患等で死亡する危険性が高くなることが報告されており<sup>1)</sup>、喫煙対策、特に防煙対策はできるだけ低年齢から開始する必要がある。

喫煙者のうち4割が20歳未満で喫煙習慣が形成されており<sup>2)</sup>、1996年の中高生を対象とした大規模な喫煙実態調査では<sup>3)</sup>、最近1か月に1本以上喫煙したことのある者が高校3年生で男子36.9%、女子15.6%であり、1990年の同様の調査より男女とも約10%の上昇がみられた<sup>4)</sup>。

一方、喫煙は映画やテレビドラマの中で描写される人物のイメージ表現の手段として使われている。思春期は自分自身のイメージを実現化する人生の段階であり<sup>5,6)</sup>、思春期の者は熱心なドラマ鑑賞者でもある<sup>7)</sup>。米国の報告では<sup>8,9)</sup>、男優・女

\* 滋賀医科大学福祉保健医学講座  
連絡先：〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町  
滋賀医科大学福祉保健医学講座 神田秀幸

優が映画の中で喫煙する場面が思春期の者の喫煙行動に影響を与えるとされている。

わが国の喫煙率は欧米諸国と比較すると、男性では依然として高く、女性の喫煙率は比較的低いものの、若い世代では上昇傾向がみられ<sup>10)</sup>、防煙対策上、若年者が喫煙に至る背景要因を明らかにする必要がある。

これまでにわが国のテレビドラマにおける喫煙場面について調査をされたものはいくつかある<sup>11~14)</sup>。しかし、喫煙場面が挿入されている時の登場人物の状況や登場人物を取り巻く環境などの喫煙の背景について検討した報告はない。本研究では、わが国のテレビドラマの喫煙描写の放映割合、配役の設定、喫煙時の状況などの喫煙場面の実態を明らかにし、未成年者の喫煙行動に影響を与える環境要因に関する基礎資料とすることを目的とした。

## II 対象および方法

米国の調査では<sup>15~17)</sup>、喫煙場面および喫煙関連場面の評価として主に映画を対象とした検討がなされている。わが国では、テレビの普及台数が人口千人対700台を越え<sup>18)</sup>、テレビドラマの視聴者数は映画の視聴者数よりはるかに多いと推計さ

れる<sup>19)</sup>。また、わが国のテレビドラマ番組は、数社の主要放送局が全国の系列地方放送局に同一時間帯に配信するという独特の番組配給体制をとっている。今回の調査では、これらが配信する若者を主な視聴対象とした1時間ものの連続テレビドラマを調査対象とした。また、わが国の連続テレビドラマ番組は3か月を1クールとして製作されているため、分析対象とする番組の放映時期に差が生じないように、今回の調査は2001年7~9月期を調査期間と設定した。

対象番組は、民間テレビ放送主要5局（フジテレビ、日本テレビ、東京放送（TBS）、テレビ朝日、テレビ東京）の夜9~10時台に地上波で調査期間に放映する番組の中から次のいずれかの条件を満たす番組を選択した。1990年から2001年6月の間で連続ドラマの平均視聴率が歴代上位20位<sup>20)</sup>に入った時間枠で放送する番組6番組、および前作の視聴率が20%を越えた番組<sup>20)</sup>の続編1番組の計7番組とした（表1）。各番組は8人の研究協力者によって、VHSビデオに録画され、解析に使用された。この7番組の放送回数は合計76回であり、その内69回分が記録できた。対象番組の内「ファイティングガール」では野球中継延長により11回放送中4回しか録画できなかったため、ビ

表1 調査対象番組の番組名と主な内容、2001年7~9月期 在京民間テレビ放送主要5局放映分のうち平均視聴率が歴代上位20位に入った時間枠で放送する番組、および前作の視聴率が20%を越えた番組の続編の時間枠分

番組名	放送局・放送時間	主な内容 <sup>1)</sup>	平均視聴率 <sup>2)</sup>
できちゃった結婚	フジテレビ系 月曜 21:00-21:54	婚前妊娠となったカップルの結婚・出産までのラブコメディ	15.9%
救命病棟24時	フジテレビ系 火曜 21:00-21:54	救急センターで繰り広げられる人間模様を描いたドラマ	20.3%
ファイティングガール	フジテレビ系 水曜 21:00-21:54	20歳を前に自我に目覚めていく少女の成長を描いたドラマ	13.2%
恋がしたい恋がしたい	東京放送（TBS）系 日曜 21:00-21:54	「恋がしたい」と願っている様々な年代の7人が織り成すラブストーリー	17.5%
金田一少年の事件簿	日本テレビ系 土曜 21:00-21:54	難事件に少年探偵が挑んでいく推理ドラマ	13.7%
マリア	東京放送（TBS）系 水曜 22:00-22:54	人情派の女医を主人公に人間愛をテーマに繰り広げられるドラマ	10.1%
非婚家族	フジテレビ系 木曜 22:00-22:54	「家族とは何か」をテーマに、仕事も家庭も失った中年男性と対照的な女性2人の生きざまが交錯するドラマ	11.3%

<sup>1)</sup> 文献21を参考に筆者が要約 <sup>2)</sup> ビデオリサーチ社調べ（関東地区）

デオ収録率が36.4%であった。その他の6番組については100%が収録でき、全体としては調査対象とした全放送回数の90.8%について分析が可能であった。対象番組の平均視聴率は10.1~20.3%であった(ビデオリサーチ社調べ(関東地区))。

ドラマ内の喫煙に関する描写場面は喫煙場面と喫煙関連場面に分類し、喫煙場面は喫煙行為そのものとし、喫煙者の特性(性別、配役(主演/助演/エキストラ)、役柄の設定年代)、喫煙状況(一人/喫煙していない者と同席/喫煙している者と同席)、喫煙環境(住宅・室内/飲食店内/車内/野外/その他)を記録した。喫煙関連場面は、喫煙行為はないが映像上にたばこやたばこ関連品(銘柄・ロゴ、箱、マッチ・ライター、灰皿)が描写されている場面とした。

喫煙場面および喫煙関連場面の計測は、各番組を3分間1ユニットに区分し、以下のような手順で行った。1ユニットに該当描写場面が何回あっても1回とカウントする、1回の描写場面が2ユニットに渡ったら2回とカウントする、喫煙を否定するような描写場面(例えば禁煙を表示した看板など)も喫煙場面、喫煙関連場面とした。また喫煙場面と喫煙関連場面が同一ユニット内に描写された場合は、それぞれ1描写場面として計測し

た。

さらに、喫煙場面のみを対象とし、喫煙背景の検討を行った。まず喫煙時に喫煙以外の行為を伴った描写場面であるかどうかに関し、それぞれのユニット数を計測した。喫煙以外の行為を伴う描写場面はさらに「仕事の場面」、「食事の場面」、「その他」のいずれかに分類した。喫煙以外の行為を伴わない描写場面については、「喫煙行為のみ」、「開始時表題場面(オープニング)・終了時配役紹介場面(エンドクレジット)での使用」に分類し、それぞれのユニット数を計測した。さらに、「喫煙行為のみ」については、その際の喫煙者の背景について記述的な考察を加えた。

### Ⅲ 結 果

収録した番組の総ユニット数は1,264ユニット(63時間12分)で、この内129ユニット(10.2%)に喫煙場面がみられた(表2)。また喫煙関連場面は258ユニット(20.4%)にみられ、喫煙場面と喫煙関連場面を合わせると387ユニット(30.6%)であった。

喫煙場面の状況を検討した結果を表3に示す。喫煙者は女性に比べ男性が圧倒的に多く、また喫煙場面の半数以上を主演による描写場面が占めて

表2 連続テレビドラマにおける喫煙場面および喫煙関連場面、2001年7~9月期 在京民間テレビ放送主要5局放映分のうち平均視聴率が歴代上位20位に入った時間帯で放送する番組、および前作の視聴率が20%を越えた番組の続編の時間枠分

ドラマ名	できちゃった結婚	救命病棟24時	ファイティングガール	恋がしたい恋がしたい恋がしたい	金田一少年の事件簿	マリア	非婚家族	合計
記録回数/放映回数	11/11	12/12	4/11	11/11	9/9	10/10	12/12	69/76
総ユニット数	203 (100.0%)	229 (100.0%)	85 (100.0%)	191 (100.0%)	152 (100.0%)	167 (100.0%)	237 (100.0%)	1,264 (100.0%)
喫煙場面 計	31 (15.3%)	13 (5.7%)	10 (11.8%)	29 (15.2%)	11 (7.2%)	3 (1.8%)	32 (13.5%)	129 (10.2%)
喫煙関連場面 計	81 (39.9%)	37 (16.2%)	23 (27.1%)	24 (12.6%)	17 (11.2%)	5 (3.0%)	71 (30.0%)	258 (20.4%)
喫煙関連/ 灰皿	50 (24.6%)	16 (7.0%)	12 (14.1%)	5 (2.6%)	5 (3.3%)	1 (0.6%)	13 (5.5%)	102 (8.1%)
タバコ	26 (12.8%)	13 (5.7%)	10 (11.8%)	4 (2.1%)	9 (5.9%)	3 (1.8%)	32 (13.5%)	97 (7.7%)
マッチ・ライター	2 (1.0%)	2 (0.9%)	1 (1.2%)	13 (6.8%)	0 (0.0%)	1 (0.6%)	12 (5.1%)	31 (2.5%)
タバコ箱	2 (1.0%)	4 (1.7%)	0 (0.0%)	2 (1.0%)	3 (2.0%)	0 (0.0%)	14 (5.9%)	25 (2.0%)
銘柄・ロゴ	1 (0.5%)	2 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (0.2%)

注1) 総ユニット数、喫煙場面、喫煙関連場面の数値:各番組のユニット数;1ユニット=3分間

注2) ( )内数字:各番組の総ユニット数に対する喫煙場面、喫煙関連場面の構成割合

表3 連続テレビドラマにおける喫煙場面の特性・喫煙状況・喫煙環境, 2001年7~9月期 在京民間テレビ放送主要5局放映分のうち平均視聴率が歴代上位20位に入った時間帯で放送する番組, および前作の視聴率が20%を越えた番組の続編の時間帯分

ドラマ名	できちゃった結婚	救命病棟24時	ファイティン グガール	恋がしたい 恋がしたい 恋がしたい	金田一少年 の事件簿	マリア	非婚家族	合計
喫煙場面 計	31	13	10	29	11	3	32	129
性別/								
男	31 (100.0%)	13 (100.0%)	10 (100.0%)	29 (100.0%)	8 (72.7%)	3 (100.0%)	32 (100.0%)	126 (97.7%)
女	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (27.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (2.3%)
配役/								
主演	21 (67.7%)	10 (76.9%)	0 (0.0%)	16 (55.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	25 (78.1%)	72 (55.8%)
助演	9 (29.0%)	2 (15.4%)	9 (90.0%)	11 (37.9%)	11 (100.0%)	2 (66.7%)	6 (18.8%)	50 (38.8%)
エキストラ	1 (3.2%)	1 (7.7%)	1 (10.0%)	2 (6.9%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (3.1%)	7 (5.4%)
役柄年齢/								
20歳未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
20代	17 (54.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (37.9%)	4 (36.4%)	1 (33.3%)	1 (3.1%)	34 (26.4%)
30代	12 (38.7%)	10 (76.9%)	2 (20.0%)	17 (58.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	41 (31.8%)
40代	0 (0.0%)	3 (23.1%)	0 (0.0%)	2 (6.9%)	7 (63.6%)	0 (0.0%)	31 (96.9%)	43 (33.3%)
50代以上	1 (3.2%)	0 (0.0%)	8 (80.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	11 (8.5%)
喫煙状況/								
一人で	19 (61.3%)	12 (92.3%)	10 (100.0%)	19 (65.5%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	19 (59.4%)	80 (62.0%)
喫煙していない者 と同席	11 (35.5%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	9 (31.0%)	6 (54.5%)	3 (100.0%)	12 (37.5%)	42 (32.6%)
喫煙している者と 同席	1 (3.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)	4 (36.4%)	0 (0.0%)	1 (3.1%)	7 (5.4%)
喫煙環境/								
住宅内	17 (54.8%)	1 (7.7%)	6 (60.0%)	13 (44.8%)	11 (100.0%)	2 (66.7%)	6 (18.8%)	56 (43.4%)
屋外	4 (12.9%)	10 (76.9%)	4 (40.0%)	4 (13.8%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	21 (65.6%)	44 (34.1%)
飲食店内	2 (6.5%)	2 (15.4%)	0 (0.0%)	9 (31.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (15.6%)	18 (14.0%)
車内	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)
その他	8 (25.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (7.8%)

注1) 実数: 各番組のユニット数; 1ユニット=3分間

注2) ( ) 内数字: 各番組中での喫煙場面に対する各場面の構成割合

いた。役柄の設定年齢では、未成年者の喫煙場面はみられなかったが、20歳代から40歳代の喫煙場面が多くみられた。喫煙状況としては、1人で喫煙している場面が最も多く、次いで喫煙していない者と同席している場面が続き、喫煙している者と同席している場面はわずかであった。喫煙環境は住宅内が多く、屋外での描写場面は少なかった。

喫煙場面129ユニットを喫煙者の動作状況別に分類した結果を表4に示す。仕事や食事といった喫煙以外の行為を伴った喫煙場面は70ユニット(全喫煙場面の54.3%)、喫煙以外の行為を伴わない喫煙行為のみを描写した喫煙場面は59ユニット(同45.7%)でほぼ同数であった。喫煙以外の行為としては、仕事の場面が最も多く28ユニット

表4 連続テレビドラマにおける喫煙者の動作状況別にみた喫煙場面内容, 2001年7~9月期 在京民間テレビ放送主要5局放映分のうち平均視聴率が歴代上位20位に入った時間帯で放送する番組, および前作の視聴率が20%を越えた番組の続編の時間帯分

ドラマ名	できちゃった結婚	救命病棟24時	ファイティングガール	恋がしたい恋がしたい恋がしたい	金田一少年の事件簿	マリア	非婚家族	合計
喫煙場面 計	31	13	10	29	11	3	32	129
喫煙以外の行為を伴う喫煙場面	17 (54.8%)	3 (23.1%)	10 (100.0%)	15 (51.7%)	10 (90.9%)	3 (100.0%)	12 (37.5%)	70 (54.3%)
仕事の場面	8 (25.8%)	1 (7.7%)	10 (100.0%)	4 (13.8%)	2 (18.2%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	28 (21.7%)
食事の場面	3 (9.7%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	7 (24.1%)	2 (18.2%)	0 (0.0%)	4 (12.5%)	17 (13.2%)
その他	6 (19.4%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	4 (13.8%)	6 (54.5%)	0 (0.0%)	8 (25.0%)	25 (19.4%)
喫煙以外の行為を伴わない喫煙場面	14 (45.2%)	10 (76.9%)	0 (0.0%)	14 (48.3%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	20 (62.5%)	59 (45.7%)
開始時表題場面、終了時配役紹介場面での喫煙	11 (35.5%)	10 (76.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (34.4%)	32 (24.8%)
喫煙行為のみ	3 (9.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (48.3%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	9 (28.1%)	27 (20.9%)

注1) 実数: 各番組のユニット数; 1ユニット=3分間

注2) ( ) 内数字: 各番組中での喫煙場面に対する各場面の構成割合

(同21.7%)を占め、次いで食事の場面が17ユニット(同13.2%)であった。その他の行為としては会話中、歩行中、ラジオ聴取中などであり、これらが25ユニット(同19.4%)あった。喫煙以外の行為を伴わない喫煙場面としては、開始時表題場面または終了時配役紹介場面に流されるテロップの背景にみられる喫煙場面が32ユニット(同24.8%)を占め、喫煙行為のみの描写場面は27ユニット(同20.9%)にみられた。この27ユニットの喫煙行為のみの描写場面の具体的な例を表5に示す。喫煙行為のみの描写場面では、考え込む・物想いに耽ると思われる場面が多くみられた。また待ち合わせの場面も多くみられた。

喫煙関連場面では、灰皿の登場が最も多く次いでたばこ自体の描写が多かった(表2)。マッチ・ライター、タバコ箱の描写は少なく、銘柄・ロゴは3ユニットのみにみられた。表には示さないが、喫煙を否定するような喫煙関連場面は2描写場面(3ユニット、喫煙場面の0.2%)のみであり、1つは時間分煙を伝える看板(2ユニット)、もう1つは火をつけていないたばこを捨てる場面(1ユニット)であり、たばこの健康障害を連想させるような描写場面は無かった。

#### Ⅳ 考 察

本研究は、若者を主な視聴対象としていると考えられる視聴率の高い連続テレビドラマの喫煙場面の実態を明らかにしたものである。分析を実施した全場面中、喫煙場面が10.2%みられ、喫煙行為はないが灰皿などが描写された喫煙関連場面は20.4%あった。また、喫煙シーンで最も多かったのは、設定年齢が20~40歳代の主演俳優が住宅内で1人で喫煙する場面であった。その時の動作状況としては、「喫煙のみ」のシーンを別にとすると、「仕事の場面」、「食事の場面」が多かった。

これまで米国で行われた映画を対象とする喫煙場面および喫煙関連場面に関する研究では<sup>16)</sup>、5分間を1ユニットとして計測した結果、全映画場面中喫煙場面が28.4%にみられ、喫煙関連場面は55.1%であったと報告されている。これは1993~1997年までの10人の人気女優の出演する映画における喫煙場面の描写を分析したものであり<sup>16)</sup>、各女優の出演作品から5作品を無作為抽出し、計50作品について5分間1ユニットとして計測している。その結果、1,116ユニット中喫煙場面が317ユニット、喫煙関連場面が615ユニットが認められた。一方、わが国で行われたテレビドラマを対象

表5 「喫煙行為のみ」の喫煙場面の具体的な例

## (できちゃった結婚)

- 問題に直面し思い悩んだ状態で歩道橋の上で喫煙する場面
- 話の一区切りがついて応接間で1人喫煙する場面

## (非婚家族)

- 主人公が妻のタンゴを踊る姿をタバコを吸いながら見つめている場面
- 妻が店から出てくるのをタバコを吸いながら主人公が待っている場面
- 主人公が部屋のベッドの上でタバコを吸いながら物想いに耽る場面
- 主人公がベランダでタバコを吸いながら物想いに耽る場面
- 妻から離婚届を突きつけられたことで悩み、ベランダで1人タバコを吸い考え事をしている場面

## (金田一少年の事件簿)

- 事件に巻き込まれて仲間が欠けていく状況に苛立ちながら喫煙する場面

## (恋がしたい恋がしたい恋がしたい)

- レストランにて彼女と待ち合わせをしている時喫煙する場面
- 婚約者にふられ放心状態で車を運転しながら喫煙する場面
- 部屋で寝起きの最初の行為として喫煙する場面
- 婚約破棄されて部屋で茫然としている喫煙場面
- 好きになった女性に逃げられ、自宅に帰って直後イライラしながら喫煙する場面
- 性交渉の後、男性がベッドで喫煙する場面
- 悩み事があり夜間中途覚醒しリビングで喫煙する場面
- 道端で彼女と待ち合わせをしている時喫煙する場面
- 仕事場の待合室で真実を告白するかどうか悩みながら喫煙する場面
- 別れた女性の消息が見つからず茫然と夜の街を喫煙しながら徘徊する場面
- 生活を立て直す決意をした後、タバコを吸いかけて止める場面 (否定的な場面)

とした調査では、全放映時間および喫煙場面時間を計時的に測定した結果、喫煙場面は3.3%と報告されている<sup>11,12)</sup>。これは1995～1996年放送分の若者を主な視聴対象とした民間放送の1時間もの連続テレビドラマの中から無作為に選び出した5作品を対象としていた。結果、全放映時間46時間47分28秒の内、喫煙場面は1時間32分9秒であると報告されている。この結果の相違は、国状、映画とテレビの違い、制作年代、測定法の違いなどの影響が考えられ、今回の我々の結果と単純な比較は困難であると思われる。

本研究におけるわが国のテレビドラマでは、20～40代の主演男優が1人で喫煙する描写場面の描写が最も多かったが、これは米国の映画を対象とした調査において<sup>15)</sup>、青年期から壮年期の主演男優の喫煙場面が、視聴者に健康的で、かっこよく、生き生きとした印象を与えているとされている描写場面と類似した使われ方と考えられる。

さらに喫煙背景として、仕事や考え込む・物想いに耽る状況で多く描かれており、これはあたか

も喫煙に思考力向上もしくはストレス回避の役割があるかのような描写の仕方であった。また開始時表題場面・終了時配役紹介場面の背景や待ち合わせでの喫煙場面は、特に喫煙の必然性が見出せず、何らかの意図をもって挿入されたものか、いわゆる「格好づけ」の小道具として使われているのか不明である。

本研究により、思春期の若者が多く視聴する可能性のあるテレビドラマの中で、喫煙場面が必然性なく登場したり、喫煙行為が心身に何らかのよい効果がみられるかのように表現されていることが明らかとなった。このことは、若年者が喫煙習慣を獲得するに至る背景要因の一つになりうると考えられ、防煙教育に逆行する影響を与えると推測された。映画の中で男優・女優の喫煙する場面が思春期の者の喫煙行動に影響を与えるとされている米国の報告も<sup>8,9)</sup>、この仮説を支持していると思われる。

本研究の対象としたドラマでは喫煙場所として住宅内での喫煙が多くみられたが、空間分煙に配

慮された描写はまったくなく、受動喫煙の害を番組制作側が認識していないと考えられた。また喫煙に伴う行為として、仕事の場面や食事の場面での喫煙場面が全喫煙場面の34.9%を占めていた。受動喫煙の害や公共マナーから考えて本来喫煙が好ましくない状況での喫煙場面がみられた。これは分煙に関するマナーが十分に浸透していないわが国の社会の投影であると考えられた。

本研究における喫煙場面の測定方法は、これまで調査されてきた米国の映画やわが国のテレビドラマを対象とした調査に用いられた方法とは少し異なっている。今回の喫煙場面および喫煙関連場面の計測は、米国での検討で広く用いられている方法<sup>15-17)</sup>、すなわち各番組を一定時間毎に区分してこの間に喫煙場面があればカウントする方法を採用した。映画での喫煙場面の計測の場合1ユニットを5分間としているものが多いが<sup>15-17)</sup>、本研究では映画の上映時間とテレビドラマの1話の放映時間の違いから1ユニットを3分間とした。わが国でのドラマを対象とした調査では<sup>11-14)</sup>、全放映時間と喫煙場面時間の計時的な測定や放映時間中の喫煙回数の計測がなされているものがある。計時的な測定は喫煙場面の割合を正確に求めることができるが、描写場面の背景要因を検討することは困難であり、また青少年がドラマから受ける影響は必ずしも喫煙場面の長さに比例するものではないと思われる。放映時間中の喫煙回数の計測は簡便な手法ではあるが、背景要因の検討が出来ないと同時に、喫煙場面の時間割合についての情報がまったく欠落してしまうという欠点がある。我々は、喫煙場面などの出現割合の算出とともに、喫煙時の周囲の状況も同時に評価可能なユニットを用いた喫煙場面の計測する方法を用いた。

今回、7~9月期を調査時期としたため、野球中継延長により対象番組の開始時間遅延が時にみられ、ビデオ録画が不可能となるケースがあった。そのため対象番組の放映回数すべてを記録することはできなかったが、この影響がみられたのは1番組のみであり、他の6番組では放映回数の100%をビデオ録画することができた。その結果、全体として9割以上の放映回数を収録できたことになり、未収録回の影響によるバイアスは少ないと思われた。

本研究は、同一の3か月間に放送された7番組を対象とし、同一の男優・女優の重複を避け、放映時期による影響を除いたが、2001年7~9月における断面調査である為、調査年、調査時期、出演男優・女優の違いによる喫煙場面の相違については検討できなかった。こうした事を明らかにするためには、テレビドラマでの喫煙場面について長期的な推移の観察が求められる。

今後は、テレビドラマの喫煙場面と実際にそれを視聴している若者の具体的な意識、行動との関連を明らかにしていく必要があると思われる。テレビを始めとするマスメディアが国民の意識形成に与える影響は大きいと考えられ、喫煙対策、特に防煙対策と分煙対策に配慮した番組の制作が強く求められる。

本研究に関する調査は平成13年度滋賀医科大学社会医学フィールド実習の一環として実施した。実習に参加した小川暢弘、呉屋五十二、塩路裕子、杉田尚子、陳博敏、広田京子、松原亜季子、依田尚子の各氏に対し感謝致します。

(受付 2002. 5.15)  
採用 2002.10.16)

## 文 献

- 1) 厚生省編. 喫煙と健康 喫煙と健康問題に関する報告書第2版. 東京: 健康体力づくり事業財団, 1993; 205.
- 2) 総理府広報室編. 日本人の酒とたばこ. 東京: 大蔵省印刷局, 1988; 62-63.
- 3) 厚生省国立公衆衛生院疫学部編. 未成年者の喫煙行動に関する全国調査報告書1996年度. 東京: 厚生省, 1998; 15-20.
- 4) 箕輪真澄, 尾崎米厚, 木村博和. 中学生の喫煙. 財団法人日本心臓財団の研究助成による青少年者の喫煙実態に関する全国調査報告書. 東京: 財団法人日本心臓財団, 1992; 11-12.
- 5) Snyder S. Movies and the adolescent: an overview. *Adolesc Psychol* 1992; 18: 74-90.
- 6) Levy MR. The VCR age: home video and mass communication. California: Beverly Hills, 1989; 56-64.
- 7) Terre L, Drabman RS, Speer P. Health-relevant behaviors in media. *J Appl Social Psychol* 1991; 21 (16): 1303-19.
- 8) Distefan JM, Gilpin E, Sargent JD, et al. Do movie stars encourage adolescents to start smoking? Evidence from California. *Prev Med* 1999; 28: 1-11.
- 9) Tickle J, Sargent JD, Dalton MA et al. Favourite

- movie stars, their tobacco use in contemporary movies, and its association with adolescent smoking. *Tobacco Control*. 2001, 10(1): 16-22.
- 10) 厚生統計協会. 国民衛生の動向. 東京: 厚生統計協会, 2001; 87.
  - 11) 曾根智史, 中原俊隆. テレビドラマにおける喫煙行動—若者向け民放ドラマにおける喫煙関連場面. *日本公衆衛生学雑誌* 1997; 44(10), 特別附録: 321.
  - 12) 曾根智史, 藤崎清道. テレビのたばこ広告中止の予想される影響. *厚生の指標* 1998; 45(4): 3-8.
  - 13) 坂口早苗, 細井 香, 坂口武洋. テレビドラマにおける喫煙関連場面の検討. *日本公衆衛生雑誌* 2000; 47(10), 特別附録: 209.
  - 14) 坂口早苗, 細井 香, 坂口武洋. テレビドラマにおける喫煙関連場面の検討(II). *日本公衆衛生雑誌* 2001; 48(10), 特別附録: 292.
  - 15) Hazan AR, Lipton HL, Glantz SA. Popular Films do not reflect current tobacco use. *Am J Public Health*. 1994; 84: 998-1000.
  - 16) Escamilla G, Craddock AL, Kawachi I. Women and smoking in Hollywood movies: a content analysis. *Am J Public Health*. 2000; 90: 412-414.
  - 17) Sargent JD, Tickle JJ, Beach ML et al. Brand appearances in contemporary cinema films and contribution to global marketing of cigarettes. *Lancet*. 2001; 357: 29-32.
  - 18) 経済企画庁調査局編. アジア経済2000. 東京: 大蔵省印刷局, 2000; 37-39.
  - 19) UNESCO・アジア文化センター監訳. UNESCO文化統計年鑑. 東京: 原書房, 1999; 115.
  - 20) 日経BP社編. 日経エンタテイメント No. 54. 東京: 日経BP社, 2001; 52-53.
  - 21) 学研編. TV LIFE 関西版 第8巻14号. 東京: 学習研究社, 2001; 21-27.
-

## SMOKING SCENES IN JAPANESE TELEVISION DRAMAS

Hideyuki KANDA\*, Tomonori OKAMURA\*, Takashi KADOWAKI\*,  
Takehito HAYAKAWA\*, Yoshikuni KITA\*, and Hirotsugu UESHIMA\*

**Key words** : serial television dramas, smoking scenes, smoking-related scenes, smoking background

**Background** Exposure to smoking scenes in movies and TV dramas has been known to be a trigger for young people starting habitual smoking, but it has not been clarified to what extent youth is routinely exposed to smoking scenes in television programs in Japan.

**Objective** To clarify the status quo of smoking scenes and smoking-related items in serial TV dramas targeting young audience in Japan.

**Method** Seven TV dramas targeting a young audience broadcast between July and September, 2001 were analyzed. A total of 63 hours of TV programs were divided into units of three minutes (a total of 1,264 units). All the units were reviewed for smoking scenes, description of social contexts related to smoking behavior, existence of smoking and smoking-related items.

**Findings** Among the 1,264 three-minute units, 129 (10.2%) contained smoking behavior, and 258 (20.4%) depicted smoking environment with presence of smoking-related items. Smokers were male actors (126 units, 97.7%), aged 20–40 years (118 units, 91.5%), leading actors (72 units, 55.8%), and were smoking alone (80 units, 62.0%). Smoking places mainly took place in indoor settings (56 units, 43.4%). Ashtrays were the most frequently observed smoking-related items (8.1% of the total units).

The smoking scenes with actions other than smoking itself accounted for 70 units (54.3% of the smoking scenes).

As for the actions other than smoking, working (28 units, 21.7%) and eating (17 units, 13.2%) were commonly observed. Regarding smoking scenes without any other actions, 32 units (24.8%) were observed in the beginning or ending telops, and 27 units (20.9%) showed a person smoking without doing anything else. There were only 3 units (0.2%) which were against smoking behavior.

Approximately 30% of the Japanese serial television drama scenes featured tobacco use in story plots. As the general features of the smoking scenes, most of them do not necessarily require smoking in the story. Furthermore, there was little consideration about separation of designated smoking areas.

---

\* Department of Health Science, Shiga University of Medical Science